

(様式2)

R5年 4月 28日

女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	○
	第4の(2) (グループの新たな取組)	

1 地域取組主体の概要

名称	社会医療法人正光会 就労継続支援A型事業所 さんさん牧場 就労継続支援B型事業所 海陽堂	
所在地	島根県益田市高津三丁目22番1号	
代表者	大賀 満成	
主な組織の事業内容(注)	福祉事業所(就労継続支援A型・B型)、観光牧場、ホースセラピー、委託業務(駅トイレ清掃、病院シーツ交換)、洗車作業、 バタフライピーの生産及び加工・販売 バタフライピーを使用した商品開発「高津川マジックアワー(バタフライピーティー)」やギフトBOX 新商品として、入浴剤やお菓子も開発中 ネギの生産及び収穫、加工・販売 トマトやオクラなどの野菜の生産及び販売	女性農業者の 人数:11名

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制

<p>A型さんさん牧場(当施設)の指導のもと、B型海陽堂と共同で耕作を行っている。スタッフとして働く女性障がい者の雇用を増やしていきたい。障がい者の工賃・賃金向上に向け、安定した農業収入を得る事を目的に、農業事業を推進していく。</p> <p>また、各種連携機関(法人医療機関や、福祉施設、市町村や農福連携サポーター)に働き手の紹介や技術指導を受けながら実施していく。</p>
--

(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

（1）地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

R3年度からは事業規模を拡大し、法人内のB型事業所「海陽堂」と、流通の「(有)オーエム産業」と手を組み、オーエム産業が管理していた農地(ハウス20a)を借り受け栽培を始めた。この土地は元々、国が山を切り拓き開発をした土地(国営農地開発地：通称「開パイ」)で、地主がトマトやキュウリを栽培していたが、高齢になり管理が出来なくなり、数年前からオーエム産業が耕作。オーエム産業も栽培が難しくなったため、以前から取引のあった当法人に「耕作をしてみないか」と話があった。益田の国営農地開発地は高齢化の影響があり、H23年に設立された「益田地区国営対策協議会」の調査（「益田地区国営農地所有者(農地造成)実態及び意向に関する調査結果」）で土地所有者の40%(98ha)が「農地を売りたい・貸したい」と答えている。担い手の確保は急務である。実際、作付休閑地がR1年に約32haあり、管理が行き届かない土地が多くある。今回借りるハウスも、土地の一部は背の高い雑草やクズ等のつる性植物に覆われており、力仕事や機械作業が主になってくる中で、女性就農者の獲得は難しい。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

ハウスには作業小屋が併設してありトイレも設置されているが、古い汲み取り式トイレ1つのため虫や臭い、休憩時間にはトイレ待ちの列が出来てしまう等、女性にとってはとても使いにくい。実際、このトイレを使いたくないために、トイレに行くのを我慢している女性スタッフも多いため働く環境の整備は重要である。障がい者の方は薬の関係でトイレが近いこともあり、体調を整えて継続して仕事をするという点ではより一層トイレの問題は重要である。また、急な体調不良になることも多く、休憩のできる場所の確保も必要である。一般企業では働けなくても理解のある施設でなら働きたいと思う障がいのある女性も多数いるのではないかと考える。実際、当施設の障がい者スタッフに、昔トマト農園で働いていたが障がいへの理解が少なく、調子を崩して辞めてしまったという方もいる。益田市内には障がい者の働ける施設が少なく、働きたくても働けない方も多い。一般企業ではできない医療・福祉側ならではの「女性障がい者」という女性就農者の掘り起こしができると考える。

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

女性障がい者の雇用を確保し、安心して仕事を継続していただくために、男女別のトイレや男女別の休憩場所の整備を進めていくことが必要。

また、農産品であるバターフライピーを使用した「高津川マジックアワー」では、パッ

ケージや商品の外装など、女性スタッフを中心に手掛けた商品である。他にもバタフライピーを使用した新商品の開発を進めている（入浴剤やお菓子、同施設のカフェでのドリンクなど）。女性に向けた商品が中心となるので、女性の感性で商品作りを進めていき、女性就農者の活躍の場を広げ、様々な形で農業に関わることで定着につなげていきたい。

(注) (2)、(3)の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分		①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者(注2) の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
②	R5.6	開パイハウス 横	1	11	996	996	
③④	R5.6	開パイハウス 横	1	11	1,901	1,901	
計			2	22	2,897	2,897	

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分	①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組
------	------------------------------------

④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他							
区分番号 (注1)	時期	内容	実施 回数	参加する 女性農業 者の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
計							

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開

4 本事業を活用した取組計画 (注)

時期	取組内容・回数	備考
通年	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 障がい者の実習・研修受け入れ 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS（牧場公式Twitter等） ・ 公式HP（さんさん牧場HP内で取組紹介） ・ 法人の広報誌に掲載 ・ 各種メディア ・ ハローワーク等での定期的な求人 	

	<p>3. マッチング相談会（障がい者雇用）へ参加</p> <p>4. ふるさと納税 （生産した農作物を寄付者に送るとともに、馬にニンジンが届くシステム）</p> <p>5. ビジネスマッチング（銀行のシステムを利用したマッチング相談会）の活用</p> <p>6. 農作物を使った新商品の開発（他機関とともに新商品の開発を行う。主に女性向けの商品であるため、社内外の女性のネットワークの形成に注力している</p> <p>7. 就労体験や中高校生の職場体験などを受け入れている</p> <p>【本事業を活用した取組の実施方針】 さんさん牧場では、R3年度より事業規模を拡大し、法人内のB型事業所「海陽堂」と、流通の「(有)オーエム産業」と手を組み、オーエム産業が管理していた農地を借り受け、栽培をはじめた。バタフライピーやネギの収穫、加工において、現在女性も活躍しているが、農業以外にもカフェや牧場業務、委託作業と業務内容が多岐にわたるため、農業部門の人手不足がある。農業部門へ3名の女性を雇用したいと考えている。</p> <p>【具体的に実施する取組内容】</p> <p>月1回程度 1. 農業未経験者にも安心して農業へ従事してもらうため、施設内勉強会の実施（栽培・出荷方法）</p> <p>1人につき 2. サービス管理責任者により、障がい者スタッフへのモニタリングを実施し、得意不得意に合わせた仕事内容の配慮 半年に1回</p> <p>草刈や貯水槽清掃（年3回）など 4. 地域に受け入れてもらえるよう、近隣耕作者との交流・連携をはかっていく 年1回</p> <p>5. 牧場でイベントを開催し、牧場の取り組みの周知を行う。</p> <p>6. 農業機械の整備し農作業の幅を広げ、女性にも取り組みや</p>	<p>【目標】</p> <p>見学 5件</p> <p>体験 5件</p>
--	--	--

	すい農業を目指す。	
--	-----------	--

(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標 (注)

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数 (注)	事業実施年度	2人
	事業実施翌年度	2人
	合計	4人
(女性農業者の新規確保人数の内訳)		
自営農業就業者 人、雇用就農者 4 人、 アルバイト等 人		

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

(参考)

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画	
(第4の(1)「施設等確保の取組」のみ記載)	
【事業実施年度】	
(取組予定業務)	バタフライピーの収穫、加工 農作物の収穫、選別 除草作業
(採用時期)	R5.8月
(人数)	2人
【事業実施翌年度】	
(取組予定業務)	農作物の収穫、選別、加工 除草作業 商品の開発
(採用時期)	R6.4月
(人数)	2人

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。